

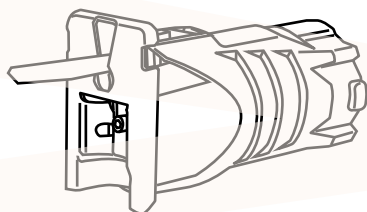
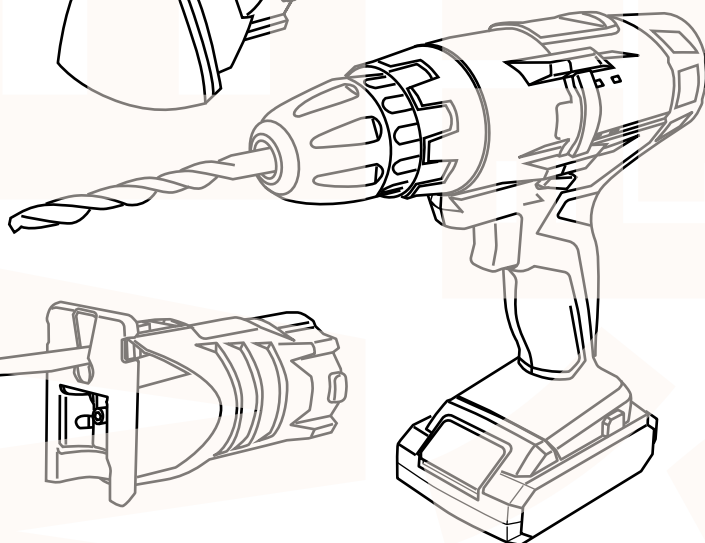
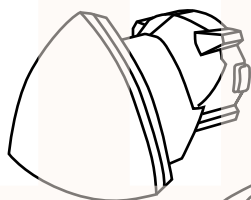
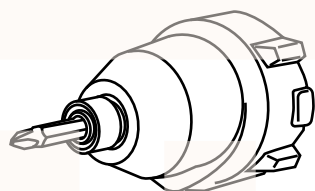
THANKO

型番 :S4IN1SPT

取扱説明書

version1.0 y

安全上のご注意	2～4
セット内容	5
各部名称	6
バッテリーの取付・外し方	6
バッテリーの充電方法	7
バッテリーについて	7
ヘッドの交換方法	8
正逆ロックスイッチ	8
ドリルドライバーヘッド	9,10
インパクトドライバーヘッド	11
ジグソーヘッド	12,13
サンダーヘッド	14
メンテナンス	15
故障かな？と思ったら	15
仕様	16



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明
書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。

保証期間：購入日より 12 ヶ月

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。



警告

死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。



注意

軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



しなくてはならない内容です。

- ・火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告



専用のバッテリー以外を使わない。

怪我・故障・発煙・発熱・発火・破裂の原因。



バッテリーは専用充電器以外では充電しない。

発熱・発火・破裂の原因。



バッテリー / 充電器を分解、加工、火中投入などをしてしない。

発熱・発火・破裂の原因。



改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・怪我の原因。

修理は弊社サポートまでご相談ください。



周囲温度が 5℃以下、あるいは 35℃以上のときは充電しない。

発熱・発火・破裂の原因。



危険物のまわりで作業しない。

感電・ショート・発火の原因。



スイッチがオンオフができない場合は、使用を中止する。

怪我の原因。



バッテリーの端子部を金属などで接触させない。

発熱・発火・破裂の原因。



本体やバッテリーを高温になるところに放置しない。

液漏れ・発熱・発火・破裂・変形の原因。



正しく充電してください。

・充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。発熱、火災のおそれ。

・周囲温度が 10 度未満、または周囲温度が 40 度以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂・火災のおそれ。

・バッテリーは換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂・火災のおそれ。

・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂・火災のおそれ。



雨中や湿った場所など本体内部に水が入りやすい環境では使用しない。

ショート・感電・発火のおそれ。



電源コードは破損したまま使わない。電源コードを傷つけない。

(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟み込むなど) 火災・感電の原因。



ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。感電やけがをするおそれ。



指定の付属品、アタッチメントを使用する。怪我・故障のおそれ。



充電は交流 100 ボルト以外では使わない。火災・発火・感電のおそれ。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 

次の場合、スイッチを切りバッテリーを本機から抜いてください。

 - ・使用しない、または修理する場合
 - ・ビットなどの付属品を交換する場合
 - ・その他危険が予想される場合
- 

不意な始動は避ける。

 - ・スイッチに指をかけて運ばない。
 - ・バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 

バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療をうけてください。
- 

使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。

発熱・発火・破裂の原因。
- 

保護めがねを使用してください。

作業時は保護メガネを使用してください。また粉塵の多い作業では、防塵マスクを併用してください。
- 

防音用保護具を着用してください。

騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆いなどの防音用保護具を着用してください。
- 

材料を加工する場合しっかりと固定してください。

材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。両手で工具を使用できます。
- 

作業場の周囲状況を考慮してください。

 - ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれ。
 - ・可燃性の液体、ガスのある場所で使用、充電はしないでください。爆発・火災のおそれ。
- 

不意な始動は避ける。

事故・けがの原因。
- 

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 

バッテリー・充電器が損傷した場合には使用しない。

発熱・発火・破裂の原因。
- 

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などがある場所で充電しない。

爆発・火災のおそれ。
- 

充電器のバッテリー装着部の充電用端子に金属片、水などの異物を近づけない。

爆発・火災のおそれ。
- 

充電器は充電以外の用途で使用しない。

発熱・発火・破裂・怪我の原因。
- 

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。

怪我ややけど絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
- 

必ず差込プラグを持って引き抜く。

感電や、ショートして発火するおそれ。
- 

使用中、異常音がした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止する。

弊社サポートセンターまでお問合せください。

怪我の原因。
- 

ご使用の前に、損傷部品を点検する。

本体やその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されることを確認してください。
- 

使用中、振り回されないよう本機を確実に保持してください。

怪我の原因。
- 

工具は注意深く手入れをしてください。

安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

 - ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は弊社サポートまでご連絡ください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や発火のおそれがあります。
 - ・グリップ部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



充電器の充電用端子に金属片や水などの異物が付着している場合は除去してください。
発煙・発火・破裂のおそれ。



無理な姿勢で作業しない。
怪我の原因。



レンチなどは、必ず取り外してください。
スイッチを入れる前に、レンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。



明るく清潔で、安全な場所で作業する。
事故の原因。



使用しない場合は、きちんと保管する。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
事故のおそれがあります。
・バッテリーを周囲温度が 50 度以上に上がる可能性のある場所（金属の箱・夏の中内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。



きちんとした服装で作業をしてください。
・だぶついた衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻きこまれるおそれがあるので、着用しないでください。
・屋外での作業には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
・長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
怪我の原因。



子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
感電・けがの原因。



十分注意して作業を行ってください。
充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。疲れている場合は、使用しないでください。



使用後は常に手入れをする。
ハンドル部や握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



損傷した部品がないか点検してください。
・使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・破損した部品交換や修理は弊社サポートまでお問合せください。
・スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は使用しないでください。



充電工具の改造は行わない。
・本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行わないでください。
・本体が熱くなったり、異常に気付いた時は弊社サポートセンターまでお問合せください。
・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や怪我のおそれがあります。



充電中、発熱などの異常に気が付いた時は直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
発煙、発火、破損のおそれ。



無理して使用しないでください。
・安全に効率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。



電動工具に無理な力をかけない。
電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。
また、適した速度で使用するによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。



電源コードを本体に巻き付けない。
感電・怪我の原因。



使用中重手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。
怪我の原因。

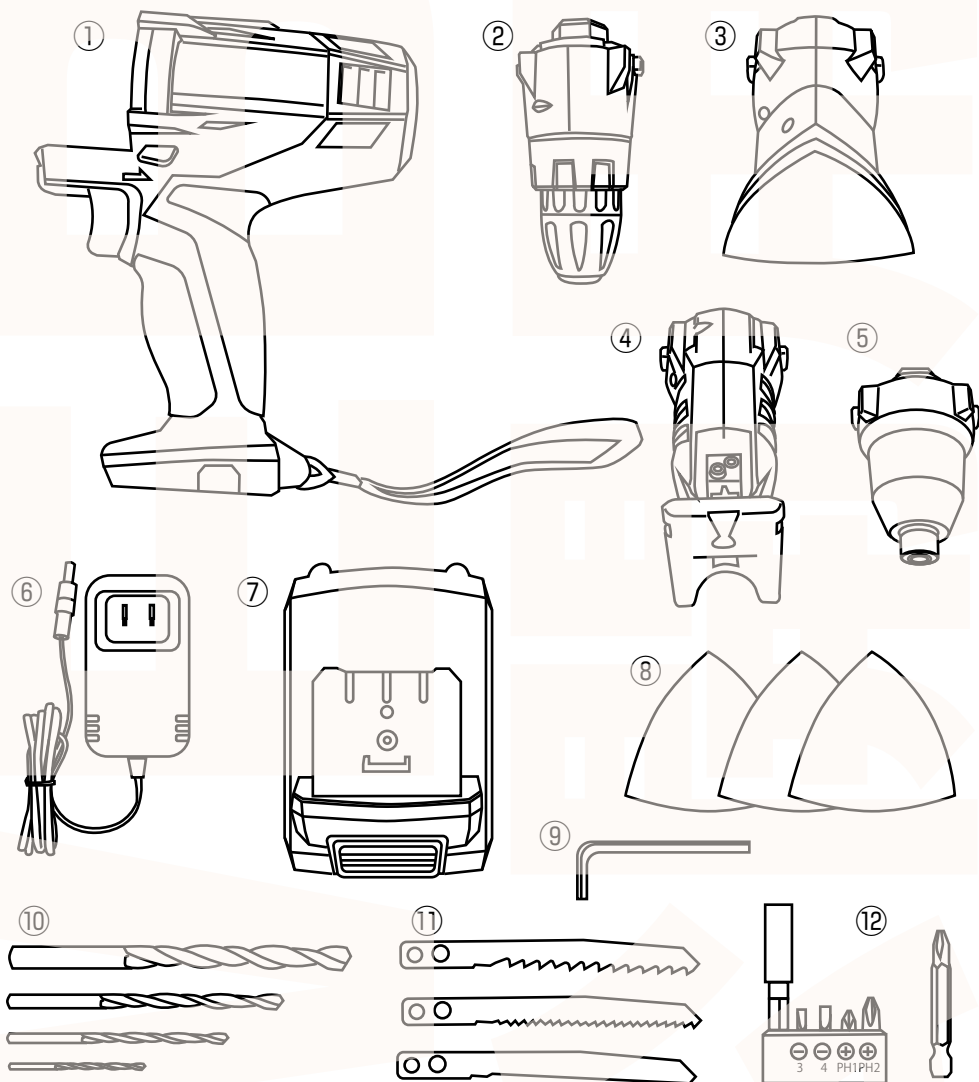


高所作業時は、下に人がいないことを確認してください。
事故の原因。



電動工具と刃物類は、こまめに手入れをする。
安全で効率のよい作業のために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。

セット内容



①本体

②ドリルドライバーヘッド

③サンダーヘッド

④ジグソーヘッド

⑤インパクトドライバーヘッド

⑥AC アダプター (180cm)

⑦バッテリー

⑧サンドペーパー (粗目・中目・細目)

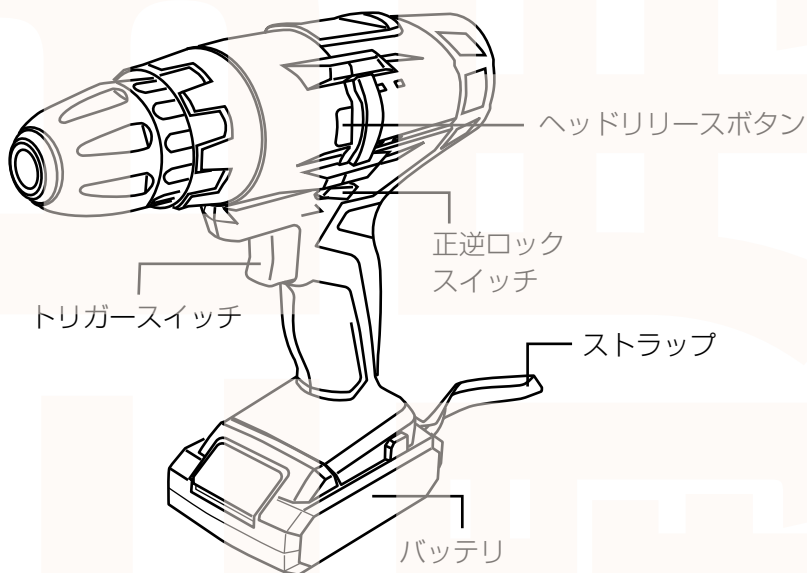
⑨六角レンチ

⑩ドリル刃 (4本)

⑪ジグソーブレード (3本)

⑫ドライバー (ビット5本、ソケット)

各部名称



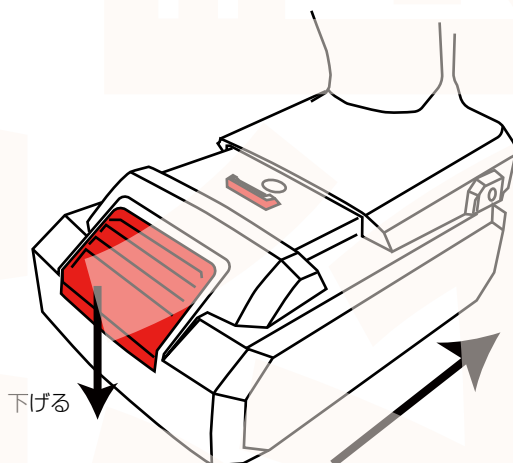
バッテリーの取付・外し方

◆取り外し方

バッテリーにある赤いボタンを下にさげながらスライドさせて外します。

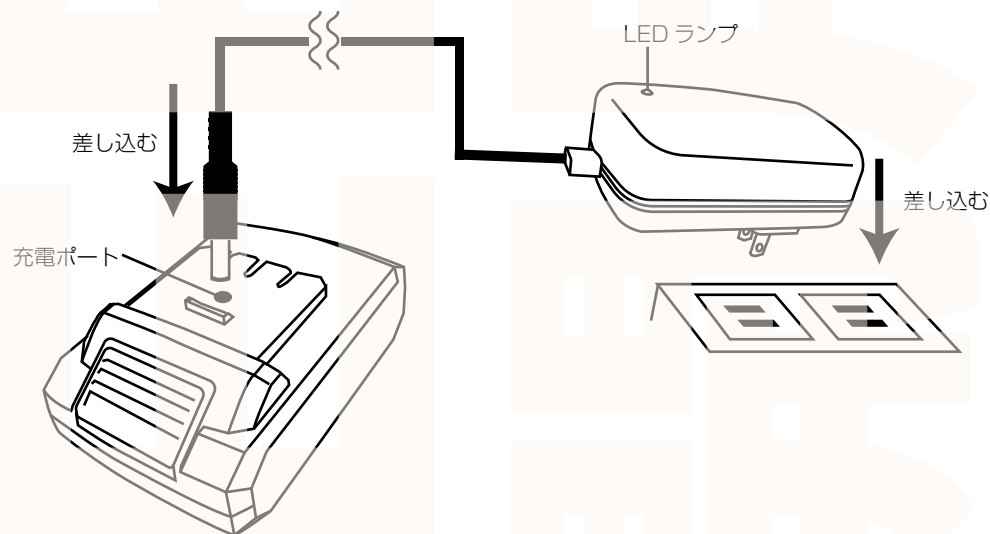
◆取り付け方

外す場合とは逆に、本体の凹形状に合わせ、奥までスライドさせます。カチッと音がするまでしっかりと奥にスライドさせてください。



バッテリーの充電方法

- ①バッテリー中央にある充電ポートに付属している AC アダプターのケーブルを差し込みます。
- ②AC アダプターの電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込みます。AC アダプターの LED ランプが赤に点灯、充電を開始します。
- ③満充電になると LED ランプが緑点灯 + 赤点滅に変わります。
- ④電源コンセントから AC アダプターの電源プラグを抜き、バッテリーから充電ケーブルを抜いてください。



バッテリーについて

◆長持ちさせるために

バッテリー使用後、充電せずに保管してください。

長時間使用しないときは、再使用前に充電し、長時間保管する場合には、充電せずに保管してください。

満充電してもご購入後と比べ、半分程度の作業しかできなくなった時は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。バッテリーは消耗品扱いとなります。

弊社ウェブサイトにて交換用のバッテリーを販売しております。

※充電中、充電器・バッテリーは触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。

※作業中に本製品の作業量がおちてきた場合、バッテリーを再充電してください。充電池の力が弱くなった状態で作業を続けしないでください。

※連続して充電する際は、充電器が著しく熱くなっていないか確認してください。著しく熱く感じられる場合は、温度が下がったことを確認した上でご使用ください。

ヘッドの交換方法

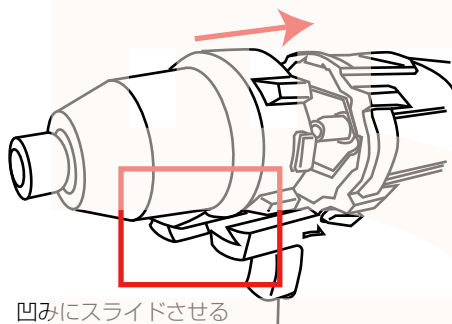


警告

ヘッドの取付・取り外しは必ずバッテリーを抜いて、電源が入らない状態でおこなってください。

◆取り付け方

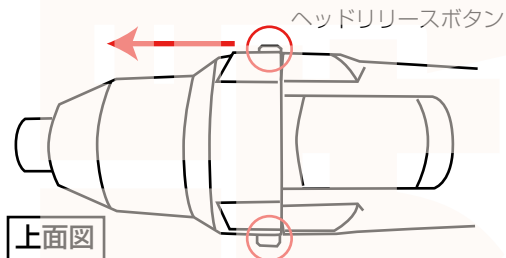
本体の凹みにヘッドの凸をスライドさせて「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



凹みにスライドさせる

◆取り外し方

両側のヘッドリリースボタンを押しながら引き抜いてください。

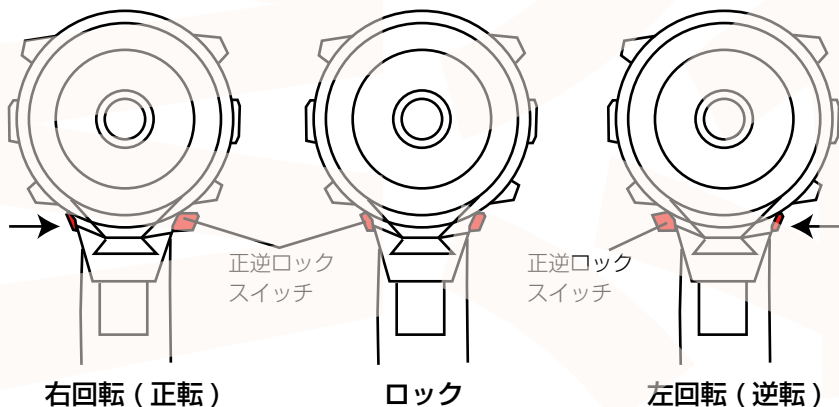


正逆ロックスイッチ

正逆ロックスイッチを押すと右回転・左回転と切り替えることができます。

正逆切替レバーの位置を中間にすると、スイッチをロックします。スイッチが引けなくなります。

先端ビットの取り換え時などは、必ずロックして行ってください。



ドリルドライバーヘッド

⚠ 警告

壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行ってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行ってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。



使用中は軍手などの巻き込まれる恐れがある手袋を着用しない。

怪我の原因。



使用中は、工具体体を確実に保持してください。

怪我の原因。



使用中、工具の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を停止してください。

弊社サポートセンターにお問い合わせください。怪我の原因。



誤って落としたり、ぶつけたときは、アタッチメントや付属品、工具などに破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。

破損や亀裂、変形があると、怪我の原因。

⚠ 注意



ドリルビットや付属品は、取扱説明書に従って確実にに取り付けてください。

怪我の原因。



使用中は作業面に手や顔などを近づけない。

怪我の原因。



作業直後のドリルビット／両頭スクロードライバーは高温になっていますので、触れない。

火傷の原因。



高所作業を行なうときは、下に人がいないことをよく確認してから作業を行ってください。

事故の原因。

◆ドリルビット・ドリルの取付方法

※本製品の対応ビットサイズは 1 ～ 10mm 丸軸・六角軸です。

先端部分のみ回す



①ドリルドライバーヘッドはキーレスチャック式になります。最初にチャック先端部を反時計回りに回し、チャックを開きます。

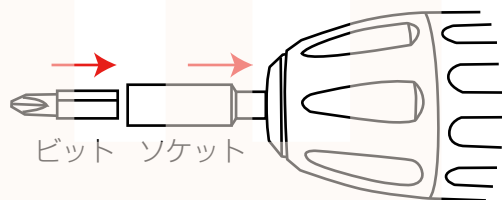


②ビット（ドリル）をチャックの中に20mm ほど差し込み、チャック先端部を時計回りに回してビット（ドリル）を固定します。

作業が終わったら、逆の手順でビット（ドリル）を外して保管してください。

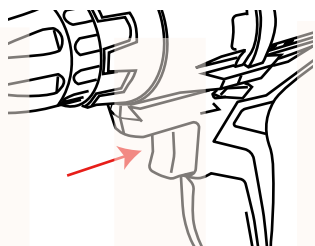
ドリルドライバーヘッド

◆短いドライバービットの取付方法



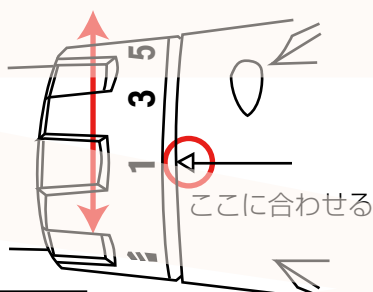
ソケットをドリルドライバーヘッドに取り付けてから、ビットをソケットの先に差し込みます。磁力でビットが固定されます。

◆ドリルビット・ドリルの使い方

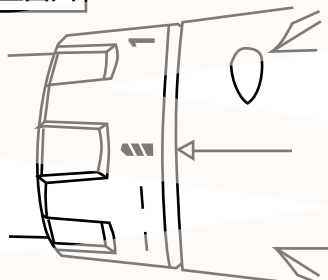


トリガースイッチを引くと動作します。トリガースイッチを浅く引くと低速で、深く引くと高速で回転します。

◆トルクの調節



上面図



本製品ではトルクの調節が可能です。本体上面の中央に数字を合わせてください。

設定した数値を上回るチカラがかかった時に、クラッチが滑り、それ以上無理な回転は行われません。

太いネジには高いトルク設定が必要になります。細いネジの場合に高いトルクを設定すると、ネジを傷める事があります。

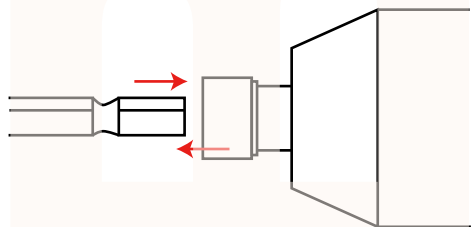
加工面を保護するには、低いトルクで作業を開始してください。

深くネジを埋め込む作業・穴あけ作業時には、にセットしてください。この位置ではトルク調整が作動しません。

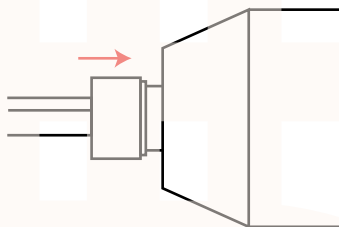
作業が終わったら、逆の手順でビット（ドリル）を外して保管してください。

インパクトドライバーヘッド

◆ドライバービットの取付方法



①先端のスリーブを引きだしながら、ビットを差し込みます。



②スリーブから手を離すとスリーブが元の位置に戻り、ビットが固定されます。しっかりと固定されているか確認してください。

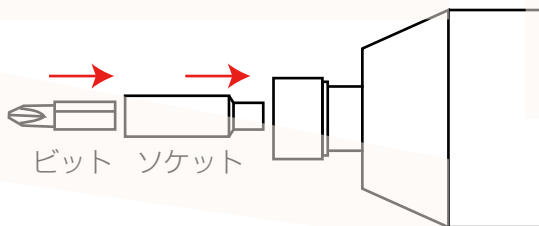
作業が終わったら、逆の手順でビットを外して保管してください。



注意

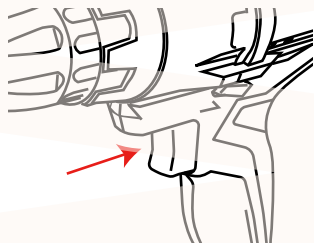
ビットは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分の場合はスリーブが元の位置まで戻らず、ビットの固定ができません。

◆短いドライバービットの取付方法



ソケットをインパクトドライバーヘッドに取り付けてから、ビットをソケットの先に差し込みます。磁力でビットが固定されます。

◆ドリルビット・ドリルの使い方



トリガースイッチを引くと動作します。トリガースイッチを浅く引くと低速で、深く引くと高速で回転します。

⚠ 警告



使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

怪我の原因。



使用中は、工具体体を確実に保持してください。

怪我の原因。



作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

埋設物があると、ジグソーブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因



使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、弊社サポートセンターまでお問合せください。

怪我の原因。



使用中は、ジグソーブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけない。

怪我の原因。



誤って落としたり、ぶつけたときは、ジグソーブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

怪我の原因。

⚠ 注意



ジグソーブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

怪我の原因。



ジグソーブレードにヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。

怪我の原因。



使用中は重手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しない。

怪我の原因。



作業前に、人がいない方向にジグソーブレードを向けて作動させ、機体の振動やジグソーブレードの面振れなどの異常がないことを確認してください。

怪我の原因。



使用中は、ジグソー刃や切り粉の排出部に手や顔などを近づけない。

怪我の原因。



本機を使用して切断作業をしている最中、作業部分を絶対に手や足でつかんだり固定したりしない。

怪我のおそれ。



作業直後のジグソー刃は高温になっていますので、触れない。

火傷の原因。



切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

怪我の原因。



作動中ジグソーブレードでコードを切断しないように注意してください。

感電のおそれ。



切断作業時に発生する切り粉や粉じんに、癌や出生障害、他の疾病を起こす原因となる化学物質が含まれることがあります。

誤って吸い込んだり、肌にふれたりしないよう、細心の注意をはってください。



高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

事故の原因。



毒性の銅クロムヒ酸塩（CCA）を含んだ合成木材 ー鉛を含んだペンキを使用した金属や木材の切断作業をする際は、マスク等を必ず着用ください。

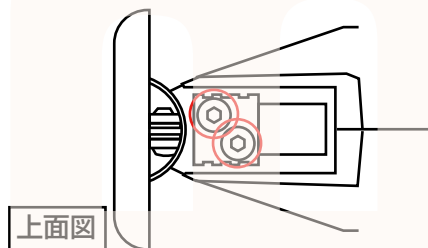


壁や床面を切断の際、もしくは電流の流れた電線のあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらない。

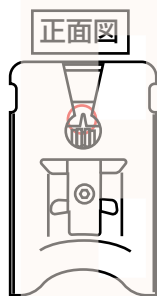
怪我の原因。

ジグソーヘッド

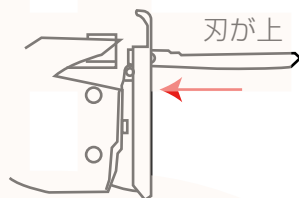
◆ジグソーブレードの取付方法



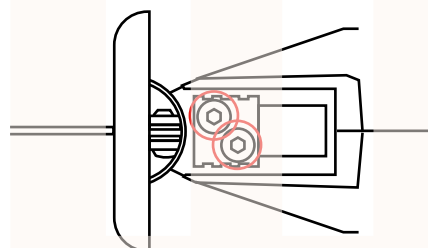
①ジグソーヘッドの上面にある 2 カ所のネジを、付属の六角レンチで緩めます。



側面図



②ジグソーブレードを上図の位置に、刃が上向きになるように差し込みます。奥までしっかりと差し込んでください。

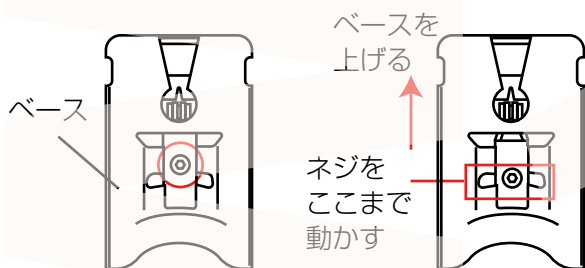


③ジグソーヘッド上面にある 2 カ所のネジを付属の六角レンチで締めます。しっかり固定されているか確認してください。

作業が終わったら、逆の手順でジグソーブレードを外して保管してください。

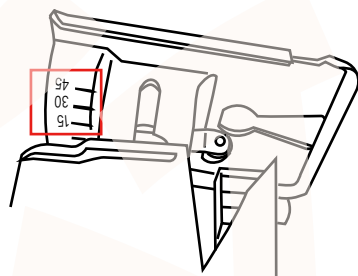
◆傾斜切断

ベースを傾斜させることによって左右 45 度までの傾斜切断が可能です。
※ベースの傾斜は必ずバッテリーを外し、ジグソーブレードを外して行ってください。



①ジグソーヘッドの正面にあるネジを付属の六角レンチで緩めます。

②ベースを少し上に上げ、ネジを半円の溝に合わせます。



③ベース裏側半円部にある角度目盛に合わせてベースの位置を決めたら、六角レンチでネジを締めます。

⚠ 警告



使用中は、工具本体を確実に保持してください。

怪我の原因。



加工材を手で保持しての研磨はしないでください。

怪我の原因。



工具を固定しての作業はしない。

怪我の原因。



作業前に、木材に釘等の異物が含まれていないことを十分に確認してください。

事故の原因。



有鉛のペンキ上を研磨しない。

鉛成分を含んだ粉じんは、人体に有害です。



加工材はしっかりと固定して作業してください。

怪我の原因。



使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、弊社サポートセンターまでお問合せください。

怪我の原因。



水砥ぎ研磨用途には使用しない。

感電事故の原因。



石綿は人体に有害なので、粉塵対策をおこなってください。

⚠ 注意



サンドペーパーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

怪我の原因。



使用中は、作業面に手や顔などを近づけない。

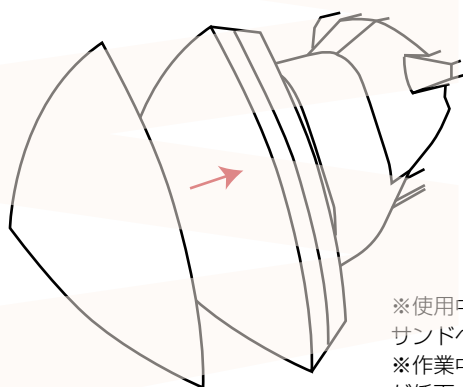
怪我の原因。



高所作業を行なうときは、下に人がいないことを良く確認してから作業を行なってください。

怪我の原因。

◆サンドペーパーの取付方法



サンドペーパーをサンドヘッドの面ファスナーに押し付けます。しっかりと固定されているか確認してください。

※使用中にサンドペーパーの粒目がなくなってきたら、新しいサンドペーパーと交換してください。

※作業中、本機に無理な力をかけないでください。作業の効率が低下するばかりでなく、本機のモーターの故障やサンドペーパーの寿命の低下にもつながります。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

故障かな？と思ったら

保証期間中、動作に問題が発生した場合は事前連絡不要にて交換対応させていただきます。

- 不具合の症状を記載したメモ
- 販売店名の購入日が確認できる書面
(納品書やレシートのコピー、注文履歴の印刷物)
- 商品一式

が必要となります。保証期間をご確認いただき、すべて同梱の上、下記住所までご送付ください。

<返送時の送料について>

商品お届け日より 1 週間以内にご返送の場合は、初期不良として弊社着払いにてご送付いただけます。1 週間を過ぎている場合の送料はお客様負担となります。

修理・メールのお問い合わせは、下記ページにアクセスしてください。

<https://www.thanko.jp/smartphone/page59.html>

または QR コードを読み込んでアクセスしてください。



不具合品のご送付先

〒341-0043 埼玉県三郷市栄 4-72-1 EL 倉庫内 サンコーサポート宛
TEL 03-3526-4328 FAX 03-3526-4329
(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)
お問い合わせメールアドレス support@thanko.jp

仕様

サイズ	225×70×215(mm)
重量	955g (バッテリー含む)
保証期間	購入日より 12 カ月

ドリルドライバー

回転数	0 ～ 550rpm
最大トルク	25Nm
キーレスチャック	1.0 ～ 10mm

インパクトドライバー

回転数	0 ～ 2400rpm
最大トルク	90Nm
チャック	二面幅 6.35mm 六角軸

ジグソー

回転数	0 ～ 3000rpm
最大切込深さ	22mm

サンダー

回転数	0 ～ 3000rpm
パッドサイズ	90×90×90(mm)

AC アダプター

定格入力電圧	100V
定格周波数	50/60Hz
定格出力電圧	21V
定格出力容量	1.5A
定格消費電力	50W

バッテリー

定格電圧	18V
定格容量	2.0Ah
電力量	27Wh
充電時間	90 分
稼働時間	空回り：約 35 分 使用中：約 15 分

※電源は必ず充電器の定格以上の容量をもつコンセントをご使用ください。

※内容品に記載している以外の物は付属しません。

※落としたり強い衝撃を与えないでください。

※分解しないでください。

※修理・改造をしないでください。

※防水機能はありません。本体を濡らしたり、水洗いしないで下さい。

※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。

※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

販売元 **THANKO**

101-0021 東京都千代田区外神田 4-9-8
神田石川ビル4F サンコー株式会社

TEL：03-3526-4328

FAX：03-3526-4329